

子供たちの「幸せ」のために

始良・伊佐教育事務所長 児玉 恭子

春です。新たな1年への期待と不安が入り混じる季節です。この1年、本地区で頑張る先生方の姿に励まされながら、子供たちの健やかな成長のために教育事務所としての務めを果たせるよう努力してまいりました。令和5年度を振り返りますと、目の前の子供たちのためよりよい授業にしようとして先生方が生き生きと語り合う姿がとて増えてきたなあと感じており、これからもどんどん広がってほしいと願っております。

令和6年2月、第4期の鹿児島県教育振興基本計画が策定されました。今回は、わかりやすく解説した「簡易版」も発行されていきましたので、理解しやすかったのではないかと思います。込められた願いは、鹿児島の子供たちに「夢や希望をもち、その実現に向け挑戦し続けてほしい」「友達と協力し、よりよい未来を切りひらいてほしい」「ふるさとである鹿児島に誇りをもってほしい」ということです。そして、基本目標には「誰もが幸せや豊かさを感じられる地域や社会を目指して」とあります。

担任をしていた頃、卒業する生徒たちに、「あなたたちには幸せな人生を過ごしてほしい。幸せを感じながら生きていける人になってほしい。」とよく言っていました。子供たちが幸せを感じながら生きていけるようになるためには、それに必要な心と力を育まなければなりません。「主体性」、「協調性」、「学び続ける力」、「課題設定・解決能力」、「論理的思考力」や「創造力」などなど。推進計画には具体的な「数値目標」についても記載されています。その達成に向けて、皆さんとともに努力していきたいと思っております。

本号は、1年を振り返り、残された課題や解決に向けて参考となる取組を掲載しました。それぞれの学校でも同じような観点から1年の取組を振り返り、次年度の計画を立てていただきたいと思っております。私たち教育事務所は、皆さんの目標達成に向けて、最後まで伴走してまいりたいと考えています。令和6年度も、子供たちの幸せを願い、ともに走ってまいりましょう。

第4期 鹿児島県教育振興基本計画

《基本目標》 夢や希望を実現しともに未来を創る鹿児島の人づくり
～誰もが幸せや豊かさを感じられる地域や社会を目指して～



(福寿草 花言葉：幸せを招く)

《計画期間における数値目標》

普段の生活の中で、幸せな気持ちになることが
よくあると思う児童生徒の割合 (小中)

令和5年度

小49.2%
中39.2%

令和10年度

80%



始良・伊佐地区生涯学習推進大会

本地区では、毎年、生涯学習の振興と潤いと活力のあるまちづくりを目的とした生涯学習推進大会を開催しています。本年度は、2月4日(日)、湧水町栗野中央公民館において開催し、200人を超える方に参加いただきました。

地区内で社会教育の振興に特に顕著な業績をあげた方々の表彰、「児童生徒の体験活動」や「高校における総合的な探究の時間の取組」、「家庭教育学級の取組」についての活動発表により、本地区や各市町の生涯学習について学び合いました。



【講演の様子】

また、MBCタレントの野口たくお氏の講演は、鹿児島の方言の大切さ、鹿児島の自然や食文化の豊かさ・貴重さを学ぶとともに、故郷のよさを見つめ、守り伝え続けていくことが、地域の活性化と次代を担う子供たちの育成に欠かせないものだということに気付かせてくれるお話でした。

今回の学びを通して、生涯学習によるまちづくりが図られるとともに、学校教育と社会教育が連携し、豊かな教育環境や地域社会の実現が図られることを期待します。

★御意見・御感想をお待ちしています。

☎ : 0995-63-8137 ☒ : airaisa-shido@pref.kagoshima.lg.jp



R5鹿学調結果を踏まえた課題の解決を図るために～見えにくい学力の向上を中心に～

※ 本稿では、R5鹿学調「児童生徒質問紙」の回答状況から地区の学力の状況を考察しています。(数字(%))は、[R6.3.1地区速報値]

○ 「各教科の授業が、よくわかる。」と回答した児童生徒の割合は、学年が上がるにつれて減少!!

	国語	社会	算数・数学	理科	英語
小5	44.6	52.2	55.0	58.6	****
中1	36.0	43.2	34.8	36.7	36.9
中2	27.8	32.8	31.0	31.5	27.7

○ 学年が上がるにつれて学習内容は質的にも量的にも高まっていきます。そのことを踏まえ、授業づくりにおいては、前学年や前単元、他教科等での学習内容を、中学校においては、小学校の学習内容も生かして、児童生徒の「分かる」「できる」を引き出す工夫が大切です。

○ 「授業で、タブレットをほとんど(又は、まったく)使わない。」と回答した中学生が多数!!

	国語	社会	算数・数学	理科	英語
小5	18.5	27.2	26.7	28.3	****
中1	60.0	52.3	65.5	59.4	31.9
中2	54.9	37.2	55.1	34.6	27.4

○ 主体的に学習に取り組む態度を育成するためには、児童生徒が学ぶ内容や方法を自ら選択し、責任をもって最後までやり抜く体験を積み必要があります。授業者は、タブレットの利点を十分に活用し、児童生徒の学びの選択肢が増えるよう学習環境を整えていくことが大切です。

○ 「話し合い活動」の目的、内容、方法等に関する教員と児童生徒の受け止めに大きな差が存在!!

よく取り組んでいる	
小学校	31.4
中学校	18.2

▲ 教師の意識

よく取り組んでいる	
小5	51.7
中1	47.8
中2	42.5

▲ 児童生徒の意識

○ 多くの学校で、児童生徒の話し合い活動に課題を感じています。しかし意外にも、5割前後の児童生徒が、「話し合いを通して考えを深めたり広げたりする活動はよくできている。」と回答しています。授業者と児童生徒の意識の差を生んでいる原因は何でしょうか。原因やその解消に向けた具体的な取組については、今後、校内研修等で十分に協議を重ね、「話し合い活動」の質的な改善を図っていく必要があると思われます。

○ 自分で計画を立てて学習することについて

よく取り組んでいる	
小5	35.2
中1	23.4
中2	17.7

○ 学年が上がるにつれて、家庭学習の取組も質的・量的に高まっていくことが理想的です。霧島市の「授業連動型家庭学習」や「反転学習」等を参考にした具体的な対応が急務と言えます。

○ 「振り返り」に関する児童生徒の実感について

よく行っている	
小5	41.3
中1	36.0
中2	27.8

○ 本時の学びを見直して次の学習の見通しを立てたり日常生活とのつながりを実感したりする「振り返り」の取組は、まだまだ十分とは言えない状況です。確実な実施をお願いします。

○ 学級をよくするための話し合い活動について

よく行っている	
小5	33.0
中1	27.6
中2	22.6

○ 友達と協働して諸問題を解決しようとする自主的・実践的な学習過程を重視した学級活動の指導の充実を図る必要があります。このことは「学習者主体の授業」実現の基盤づくりにもつながります。

○ 「先生は認めてくれている」という実感について

認めてくれている	
小5	46.9
中1	27.6
中2	34.1

○ 授業の中で出番や役割を与える、「振り返り」の内容を具体的に取り上げて価値付けるなど、児童生徒に自己効力感や自己有用感を味わわせる意図的な働きかけが大切です。

確かな学力向上のために、各学校で必ず取り組みましょう。

① 通過率の低い問題の教育課程への位置付け

通過率の低い問題や、類似する過去問やWeb問題等を各教科の教育課程に位置付け、年間を通して効果的・効率的で確実な問題演習の実施を進めましょう。

③ 児童生徒の声を大切にして行う授業改善

質問紙の結果から明らかになった自校の課題の解決に向けた共通実践内容を設定して取り組むとともに、進捗状況を定期的・定量的に把握し改善に生かしましょう。

② 子供の資質能力を育む校内研究テーマの設定

諸調査で明らかになった学校の課題の解決を図るテーマを設定し、職員一人一人が学力向上の当事者として責任をもって授業改善に取り組む体制をつくりましょう。

④ 学習指導要領の実現に向けた「学びの羅針盤」の活用

「学びの羅針盤」(R6改訂版)には「学習者主体の授業」実現に向けたヒントが満載です。繰り返し参照して理解を深めるとともに授業改善に生かしていきましょう。

過去3年間の試行期間を経て、結果にこだわって取り組みましょう。

英検IBA、英検ESGを活用した英語力の向上

令和6年度中に、英検3級相当を達成した中学3年生を5割以上に!

「学習者主体の授業」実現プロジェクト校内研修の実施

令和6年度中に、プロジェクト校内研修の実施率を中学校10割、小学校7割以上に!

令和5年度県・地区研究協力校（9校）研究公開の様子

学校名・公開日等	研究テーマ等	研究公開の内容	授業の様子
霧島市立 陵南小学校 「道徳教育」 R5.6.27公開	進んで自分の意見を持ち、互いに 分かりやすく伝え合う児童の育成 ～道徳科における主体的・対話的で 深い学びをめざして～	「『自分だったら?』と考えられる発問の工夫」、多様な考えに触れる交流の場づくりとしての 「対話活動の工夫」、今までの自分とこれからの自分について考える「振り返りの場の充実」を通 じて、子供たちが真剣に考え、語り合い、発信する道徳の授業に取り組みました。対話による交流 活動を行うことで、自分の考えを基に友達との多様な考えに触れ、考えを深める姿が見られました。	
霧島市立 溝辺中学校 「道徳教育」 R5.7.14公開	自己の変容を見つめ、他者とのか かわりを大切に生徒の育成 ～主体的に考えを伝え合う活動の工 夫を通して～	「道徳的価値に迫りやすくするための発問の工夫」、「主体的に考えを伝え合うためのペアやグ ループ、自由交流の場の設定」、「ワークシートやICTの活用」を授業づくりのポイントに据え、 2年生と3年生で公開授業を行いました。また、分科会では、「充実した対話活動を通して、生徒 たちは自らの考えを深められているか。」という視点で、活発な意見交換がなされました。	
霧島市立 国分中学校 「体育科」 R5.9.26公開	自己の心身の状態に気づき、考え、 行動できる生徒の育成 ～学校体育の充実及び家庭との連携 を目指して～	「教科体育の指導法の工夫・改善」、「教科外活動との連携」及び「家庭・地域との連携」の3 つの柱に基づく具体的な手立てが講じられ、2年間にわたり学校全体で研修に取り組んできた様子 がよく伝わる研究公開でした。公開授業では「生徒が意欲的に学習に取り組んでいる。」「運動量 が十分に素晴らしい。」などの声が多く聞かれました。	
霧島市立 小野小学校 「キャリア教育」 R5.10.17公開	社会と連携しながら未来の創り手 を育むキャリア教育の推進 ～「キャリアプランニング能力」と 「課題対応能力」の育成を中心に～	研究発表では、キャリア教育の要である「学級活動(3)」、地域と連携・協働して行う総合的な学 習の時間「小野っ子チャレンジワーク」、家庭と連携して取り組む「志の葉」の取組が紹介されま した。公開授業では、児童が、「話し合い活動」を通して、よりよい学級づくりのための係活動の在 り方や、職業と学校での学びのつながりについて考えを広げ、深めていく様子が見られました。	
始良市立 山田中学校 「人権教育」 R5.11.9公開	夢や希望を持ち、自他共に認め合 う心を育てる人権教育の推進 ～学校・家庭・地域の連携を通して～	令和3・4年度文部科学省指定、令和5年度県教育委員会指定の3年間にわたり、「校内人権教 育の充実」及び「小・中連携による9か年を通した人権教育の充実」、「家庭、地域社会が一体と なった人権教育の総合的な取組」を推進してきました。公開授業における全校生徒と保護者・地域 の方による話し合いで出された意見をもとにして、「山田人権宣言」がつけられました。	
伊佐市立 湯之尾小学校 「小規模校・複式指導」 R5.11.15公開	自ら学び、考え、表現することの できる児童の育成 ～少人数・複式学級における学習指 導with ICT～	「少人数学級や複式学級における指導形態や指導過程の工夫」や「ICT等で表現する場の工 夫」等に関する具体的な実践を通して、児童が自らの力で主体的に学習を進め、対話的で深い学び につながる授業の在り方の研究に取り組みました。公開授業では、ガイドを中心に、子供たちが学 びを進める中で、自分の考えを深められていました。	
始良市立 錦江小学校 「算数科」 R5.11.28公開	主体的に学習に取り組む子どもを 育成する算数科指導の在り方 ～数学的な見方・考え方を働かせる 数学的活動の工夫を通して～	「主体的に学習に取り組むための学習課題提示の工夫」、「問題を自立的、協働的に解決する場 の充実」、「観点を明らかにした振り返りの場の充実」に関する具体的な実践を通して、数学的な 見方・考え方を働かせる数学的活動の工夫に取り組みました。子供たちが主体的に学習に取り組む 姿が印象に残る研究公開でした。	
湧水町立 粟野小学校 「国語科」 R6.2.8公開	確かな自分の考えを持ち、伝え合 う力を高める授業の創造 ～国語科の説明的文章の学習を通して～	フェーズ1として「説明文を正しく読み取ることができるための指導法の工夫」、フェーズ2として「考え を交流させる学習活動の工夫」を設定し、「読むこと」の単元構成表の作成や「考えを交流させる学習活 動の工夫」など、国語科の授業を中心に研究に取り組みました。学習活動の場の工夫がなされ、子供 たちが積極的に学ぶ姿が見られました。	
始良市立 帖佐小学校 「ICT活用」 R6.2.14公開	一人一人が主体的に学び、学んだ ことを豊かに表現できる子供の育成 ～ICTを活用した実践研究を通して～	研究発表では、2年間の豊富な実践を踏まえ、ICT機器を効果的に活用する「視点」と「考え られる活用や活動によって期待される効果」が明確になったことが紹介されました。公開授業では、 特に、学習内容や学習方法の自己選択や振り返りを工夫するICT機器活用が具体的に行われ、児 童が「個別」と「協働」を往還しながら主体的に学んだり表現したりする様子が見られました。	

始良・伊佐地区 の小・中学校で 先生 をしましょう

臨時的任用教職員募集

未来を拓く子供たちの 良き伴走者になりませんか

あなたの未来を変える
素晴らしい出会いが
きっとあります!

詳しくはこちらの二次元コードから





【県特設サイト】 【教員免許について】 【教育事務所HP】

シリーズ! 始良・伊佐教育事務所員が紹介する
私の元気の出る言葉⑮

「あと少し」

今日もあと少しで終わる。
この仕事もあと少しで終わる。(ボリュームの多い
仕事は分割して考える。)
よし、ゴールが見えてきた。
大変に感じられることもあと少しと思えば頑張れ
る。毎日、少しの達成感と喜びを感じていたい。
だから、あと少し元気を出して頑張ろう!(Y・N)

令和5年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

～令和5年12月に公表された全国調査の結果から、本地区の課題と注目すべきポイントについてまとめました。～

目標

国の教育振興基本計画（R5.6月）

- ◎ 1週間の総運動時間（体育の授業を除く。）が60分未満の児童生徒の割合の減少
- ◎ 卒業後にもスポーツをしたいと「思う」「やや思う」児童生徒の割合の増加

県の教育振興基本計画（R6.2月）

- ◎ 全国調査における体力合計点を全対象学年で全国平均を上回る。
- ◎ 全国調査における1週間の総運動時間420分以上の割合を全対象学年で全国平均を上回る。

国や県の教育振興基本計画では、体力・運動能力、運動習慣等に関する、向こう5年間の数値目標を左記のとおり定めています。



体育の授業以外で、どれだけ体を動かしていますか？

校種	性別	区分	運動時間(分)
小学校	男子	全国	544.56
		県	507.18
		地区	531.54
	女子	全国	321.64
		県	307.13
		地区	276.61
中学校	男子	全国	728.97
		県	749.76
		地区	695.04
	女子	全国	504.32
		県	519.93
		地区	508.18

中学校女子を除いて、国の平均値を下回っており、中でも小学校女子は、1日60分(週420分)以上という国・県の目標値を大きく下回っています。

小(中)学校卒業後も自主的に運動したいですか？

校種	性別	区分	思う+やや思うの割合(%)
小学校	男子	全国	88.8
		県	87.8
		地区	88.7
	女子	全国	83.6
		県	83.3
		地区	80.2
中学校	男子	全国	86.4
		県	87.3
		地区	80.9
	女子	全国	76.5
		県	77.7
		地区	76.6

小学校女子と中学校男子で、国・県の平均値を下回っています。中でも、中学校男子は、他の学年・性別よりも大きく下回っています。

体力・運動能力の比較（T得点による比較）

※ T得点とは、全国平均値(50)に対する本県・本地区の相対的な位置を示しています。T得点48以下の体力・運動能力には、下表のとおり黄色付けしています。

校種	性別	区分	握力	上体	長座	反復	シャトル	50m	立幅	ボール	合計点
小学校	男子	県	49.7	48.6	49.4	48.7	50.0	49.9	49.3	51.2	49.3
		地区	49.8	49.8	47.1	49.9	51.2	51.3	49.3	51.7	49.6
	女子	県	49.7	48.4	49.3	48.8	50.7	50.1	49.7	51.0	49.4
		地区	48.9	46.5	46.5	47.7	49.2	49.2	48.1	50.8	47.2
中学校	男子	県	49.0	48.6	48.6	49.0	49.9	48.4	49.4	49.3	48.6
		地区	51.3	49.6	47.7	49.3	47.9	49.5	51.6	50.2	48.9
	女子	県	49.5	49.4	47.7	49.6	50.6	49.0	50.1	49.7	49.3
		地区	49.7	51.6	47.5	50.7	50.3	49.9	51.8	49.9	50.5

T得点48以下は、明らかに全国平均と差があることを意味しますが、これを踏まえると、特に「長座体前屈」が本地区の課題であることがわかります。中でも、中学校男女は令和4年度も48以下の数値であり、本地区の中学生は、日常生活において、柔軟性を高める運動が不足しているのではないかと推察されます。



①運動習慣の実態や、運動に対する意欲を定期的に把握し、取組に生かしましょう!!

②計画的、継続的に、そして楽しんで運動できる場や機会を設定しましょう!!

H28の全国調査では、運動実施状況を把握している学校は、そうでない学校に比べて、体力合計点が高いことが明らかになっています。

楽しく取り組める運動の紹介

溝辺中の実践



校内7箇所にストレッチボードを設置。休み時間や放課後などの隙間時間に生徒が活用しています。



清掃の時間を月1回程度カットし、学年ごとに「チャレンジかごしま」に取り組んでいます。

かごしまの子ども体力向上プログラム(県教委)



アクティブチャイルドプログラム(日スポ協)



「だって先生が教えてくれたもん！」

始良・伊佐教育事務所 指導課長 林 耕二

4年担任だった新採1年目のある日の放課後、廊下から聞こえるA子の大きな声。普段はおとなしい彼女が他の学級の友達と言い争う声だ。音楽で学習した「とんび」の旋律が私の学級だけ違っていたらしい。「だって先生が教えてくれたもん！」と涙目になりながら一歩も引かないA子。次の音楽の時間に間違っ指指導したことを謝り、改めて正しい「とんび」を歌ったことを思い出す。教材研究の大切さを思い知らされるとともに、教師の言葉の影響と責任の重さを痛感した事件だった。30年以上経った今でも初心を思い出させてくれる戒めの言葉であり、その後も怠けそうになったときに私を奮い立たせてくれた。

他にも数え切れない失敗を繰り返す、その度に子供たちや同僚、保護者、地域に支えられてここまで来たが、まだまだ成長の途中。「悩むのは真剣に考えている証拠。忙しいのは一生懸命頑張っている証拠。」の先輩の教を胸に、これからも心と身体の健康を大事に、教員としての信念と矜持をもって「先生」を頑張っていきたい。